

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成29年7月6日(木) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

### 発表事項

1. 学生大使の派遣が決定しました
2. 鳴声によりシカの侵入を検知する新手法を開発
3. 第10回山形大学高校生朗読コンクール・群読劇「泣いた赤おに・りゅうの目のなみだ」の開催について
4. 山形大学を体験しよう！オープンキャンパス2017
5. 学生の活動紹介 ～ 女子バスケットボール部 ～

### お知らせ

1. 公開講座「21世紀の教育の創造—ほめる・叱るに替わる教育と子育て—」を開催
2. 農学部夏期セミナー2017～高校生対象のアカデミックキャンプ～について
3. 学金連携プラットフォーム10周年記念セミナー開催

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成29年7月20日(木) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

## 学長定例記者会見(7月6日)発表者

### 1. 学生大使の派遣が決定しました

学 長

理学部 数理科学科 4年

理学部 理学科 1年

|      |      |
|------|------|
| こやま  | きよひと |
| 小山   | 清人   |
| たかはし | まさよし |
| 高橋   | 幹佳   |
| むらかみ | かずたか |
| 村上   | 和隆   |

### 2. 鳴声によりシカの侵入を検知する新手法を開発

学術研究院 准教授(森林動物管理学)

|     |     |
|-----|-----|
| えなり | ひろと |
| 江成  | 広斗  |

### 3. 第10回山形大学高校生朗読コンクール

・群読劇「泣いた赤おに・りゅうの目のなみだ」の開催について

人文社会科学部 人文社会科学科 1年

医学部 看護学科 1年

|      |       |
|------|-------|
| まかべ  | な な み |
| 眞壁   | 菜々実   |
| おおはし | ま お   |
| 大橋   | 茉央    |

### 4. 山形大学を体験しよう！オープンキャンパス2017

学術研究院 教授(エンロールメント・マネジメント担当)

|      |      |
|------|------|
| やまもと | はるふみ |
| 山本   | 陽史   |

### 5. 学生の活動紹介 ～ 女子バスケットボール部 ～

地域教育文化学部 スポーツ文化コース 4年

地域教育文化学部 スポーツ文化コース 3年

顧問 (学術研究院 講師(地域教育文化学部担当))

|      |      |
|------|------|
| しまもと | ゆ か  |
| 島本   | 悠加   |
| よ だ  | さきこ  |
| 依田   | 咲子   |
| いけだ  | えい じ |
| 池田   | 英治   |

平成29年7月6日  
山形大学

## 学生大使の派遣が決定しました

本学では、大学間交流協定を締結し、海外拠点を設置している大学に、学生大使として学生を派遣するプログラムを実施しています。学生は、現地の学生等を対象とした山形大学日本語教室において、日本語や日本文化の紹介を行い、学生用寄宿舍等に宿泊しながら、派遣先大学の学生、職員等と積極的な交流を図り、グローバル化時代に必要な能力を習得します。

平成29年度前期集中講義として実施するプログラムへの参加者21人が決定しました。（単位認定をしないプログラムへの参加者も、順次決定します。）

### 「学生大使」派遣プログラム

本学では、平成24年度から学生大使の派遣事業を行っており、これまでに延べ約250人を超える学生を派遣してきました。単位に関係なく参加可能なプログラムであり、何度でも参加したい学生の意欲にも応えられるようにしています。

◇ 派遣先：ベトナム国家農業大学（ベトナム）、ラトビア大学（ラトビア）  
延辺大学（中国）、ジョモケニヤッタ農工大学（ケニア）、  
ガジャマダ大学（インドネシア）

◇ 到達目標：

- ①「グローバル人材」に希求される「自己認識と自己成長」の在り方、及び日本文化について深く理解できるようになる
- ②「グローバル競争社会」の姿を始め、相手国文化を深く理解できるようになる
- ③人間としての基本的な「生き方」を身につけることができる
- ④異文化間コミュニケーション能力の向上、及びアイデンティティ（Identity）の確立を図ることが可能になる

### 【前期基盤教育科目集中講義】（後期基盤教育科目集中講義もあり）

対 象：全学部学生

期 間：8月21日（月）～9月18日（月）のうち、2週間～1ヶ月程度

### 【単位認定外・通年派遣型】

対 象：全学部学生、大学院生

期 間：平成29年8月1日（火）～平成30年3月31日（土）  
のうち、2週間～1ヶ月程度

（お問合せ先）

教育・学生支援部 国際交流課 三浦  
電話 023-628-4017

平成29年学生大使派遣プログラムに挑戦しよう

| No. | 性別 | 所属学部     | 所属学科                  | 学年 | 派遣先    |
|-----|----|----------|-----------------------|----|--------|
| 1   | 男  | 理学部      | 物理学科                  | 2  | ラトビア   |
| 2   | 男  | 理学部      | 理学科                   | 1  | インドネシア |
| 3   | 男  | 地域教育文化学部 | 地域教育文化学科児童教育コース       | 1  | ベトナム   |
| 4   | 女  | 地域教育文化学部 | 地域教育文化学科児童教育コース       | 1  | インドネシア |
| 5   | 男  | 理学部      | 物理学科                  | 2  | ラトビア   |
| 6   | 女  | 人文社会科学部  | 人文社会科学科グローバルスタディーズコース | 1  | ラトビア   |
| 7   | 男  | 人文学部     | 人間文化学科グローバル文化学コース     | 2  | ラトビア   |
| 8   | 女  | 人文学部     | 人間文化学科言語学コース          | 2  | ラトビア   |
| 9   | 女  | 人文学部     | 人間文化学科グローバル文化学コース     | 2  | ラトビア   |
| 10  | 女  | 医学部      | 看護学科                  | 1  | ラトビア   |
| 11  | 男  | 工学部      | 建築デザイン学科              | 1  | インドネシア |
| 12  | 男  | 理学部      | 物質生命化学科               | 3  | ベトナム   |
| 13  | 男  | 人文学部     | 人間文化学科グローバル文化学コース     | 2  | ラトビア   |
| 14  | 女  | 人文学部     | 人間文化学科グローバル文化学コース     | 2  | ラトビア   |
| 15  | 男  | 人文社会科学部  | 人文社会科学科グローバルスタディーズコース | 1  | ベトナム   |
| 16  | 女  | 農学部      | 食料生命環境学科              | 1  | ラトビア   |
| 17  | 男  | 工学部      | 情報エレクトロニクス学科電気電子通信コース | 1  | インドネシア |
| 18  | 女  | 理学部      | 物質生命化学科               | 3  | ベトナム   |
| 19  | 女  | 地域教育文化学部 | 地域教育文化学科造形芸術コース       | 2  | ラトビア   |
| 20  | 女  | 人文学部     | 人間文化学科グローバル文化学コース     | 2  | ラトビア   |
| 21  | 女  | 人文学部     | 人間文化学科                | 2  | ラトビア   |

平成29年7月6日  
山形大学

## 鳴声によりシカの侵入を検知する新手法を開発

シカは農業被害をもたらすと同時に、森林を消失させることもある生態系改変者としても知られている。近年、多雪帯においてもシカの侵入は確認されはじめ、喫緊の対応が求められているが、侵入初期のシカを検知する効果的な手法はこれまで存在しなかった。そこで、山形大学の江成広斗 准教授はオスシカが秋に発する鳴声を指標とした2種類のモニタリング手法を開発した。これら手法の利点として、①低密度のシカ個体群にも利用可能、②従来用いられてきたセンサーカメラより200倍の検知範囲、③シカ検知の自動化が可能で利用者の専門的知識が不要、が挙げられる。この研究は、山形大学YU-COE(C)「人口減少社会適合型野生動物管理システム創成拠点」の支援を受け実施されたもので、国際誌 *Ecological Indicators* 8月号に掲載予定である。

### ✓ シカがもたらす影響

野生動物がもたらす農業被害のなかで、シカによるものが最も深刻で、被害額は年間60～70億円に達する。また、森林における大規模な植生消失をもたらすことも知られており、生態系のバランス改変が危惧されている。



写真：飯豊連峰に侵入するシカ

### ✓ シカ管理の課題

シカの個体数増加は極めて顕著で、急増段階（増加相）に入ったシカ個体群を減少させることは容易ではない。そこで、侵入初期段階の予防的対応が不可欠だが、低密度状態のシカは従来手法（スポットライト・カウント、センサーカメラ法など）では効率的に検知できないという課題がある

### ✓ 開発したシカ検知のための低コスト技術

シカの分布周縁部にはオスシカのみが集まる傾向がある。そこで、オスシカが秋に発する鳴声（howlという咆哮）を利用した以下の方法を開発した。

（１）PAM法(passive acoustic monitoring)：高感度集音器を用いて、オスシカが発する鳴声を録音し、その録音頻度を個体数指標とするものである。一台の集音器の検知範囲は約6haで、センサーカメラの200倍以上の検知面積に達する。

（２）AAM法(active acoustic monitoring)：10種に分類される鳴声の中で、howlという咆哮に対しては、他のオスシカの鳴き返しがあることを発見した。そこで、録音したhowlを拡声器で再生して、他個体の応答を記録するシカの鳴き返し法を考案した。

拡大するシカ個体群の効率的なモニタリングに資するこれら技術により、シカの分布拡大予測、さらには自然植生や社会産業への影響予測に貢献可能であると考えられる。

### 掲載雑誌

- 雑誌名: Ecological Indicators 79巻pp155-162. 著者: 江成広斗ほか5名. 題名: Feasibility assessment of active and passive acoustic monitoring of sika deer populations.

### （お問合せ先）

学術研究院 准教授 江成広斗  
（森林動物管理学）  
メール enari@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp  
Tel/Fax 0235-28-2925

## 鳴声によりシカの侵入を検知する新手法の開発

江成 広斗（山形大学学術研究院）

a) 白神山地



b) 飯豊連峰



c) 朝日山地



写真：各山系ではじめて撮影されたニホンジカ  
（江成らの調査成果による）

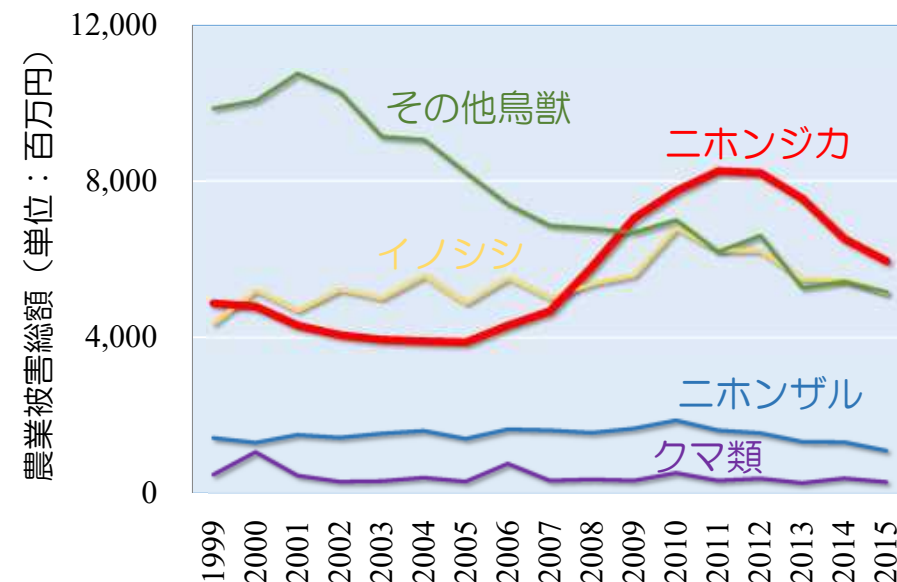
### 研究成果の掲載雑誌

江成広斗<sup>a</sup>・江成はるか<sup>a</sup>・奥田圭<sup>b</sup>・吉田美穂<sup>a</sup>・久納拓哉<sup>a</sup>・奥田加奈<sup>c</sup>（2017）  
Feasibility assessment of active and passive acoustic monitoring of sika deer populations. *Ecological Indicators* 79, 155-162

所属：<sup>a</sup>山形大学、<sup>b</sup>福島大学環境放射能研究所、<sup>c</sup>岩手大学大学院連合農学研究科

1

## シカがもたらす問題：農業被害



農林水産省公表データより

2

## シカがもたらす問題：生態系の改変



脆弱な生態系を有する地域

- ・ 影響懸念
- ・ 強い影響懸念

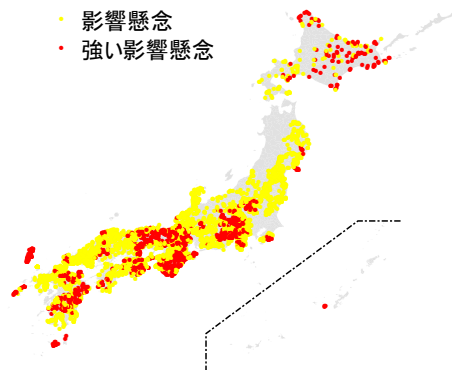


図. シカによる生態系への影響  
の恐れのある重要地域  
（環境省2011より作成）



3

## シカ管理の課題

- ・ シカの個体数増加率は極めて高く、侵入に気づいたところにはすでに手遅れの場合も
- ・ 一方で、侵入初期段階（＝低密度）のシカを効率的に検知することは難しい



スポットライト・カウント



カメラトラップ法



糞粒法

4



## 手法①PAM法\*

\*Passive Acoustic Monitoringの略



写真：高性能集音器  
(Song Meter SM2+)

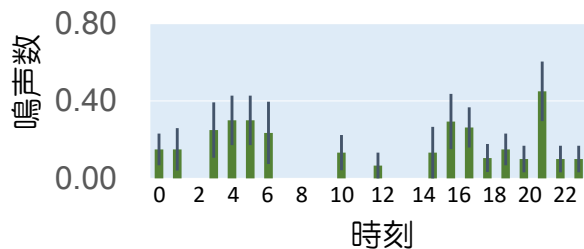


図. 侵入初期段階のオスジカの咆哮回数  
(南会津町の例)

- 同調査地において、従来のセンサーカメラおよびスポットライト・カウントではシカを全く検知できず
- PAM法では**検知が可能**で、**2.17** (台数×日) \*の調査努力量でシカの在/不在は判断可能

\*bootstrap 法を用いた95%信頼限界の下限值



5

## 手法①PAM法 → 検知可能範囲は？

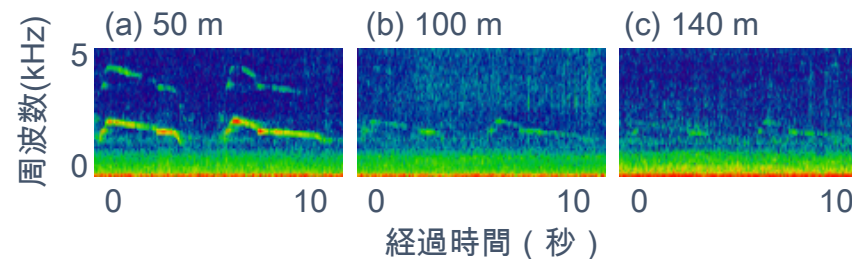


図. 距離別のオスジカの鳴声(howl音)の声紋判別

- ブナ林での調査結果では、**140m**までは集音器にて鳴声(howl音)を録音・判別可能  
※音響解析ソフトSong Scope 4.1.3Aを使用した場合
- 集音器一台当たりの検知面積は**約6ha**で、現在使用されている高性能センサーカメラの**200倍以上**



6

## 手法②AAM法\* (鳴かぬなら鳴かしてみよう...)

\*Active Acoustic Monitoringの略



- 録音したオスジカの鳴声を拡声器で林内に流したところ、**howl音には鳴き返し**があることが判明
- howl音に対する鳴き返し頻度は**オスジカ生息密度**を一定程度**説明可能**\*

\*「鳴き返し頻度」を目的変数、「オスジカの遭遇率」と「環境雑音」の2つを説明変数とした統計モデル(GLMM)を構築 ⇒ %DE=49.6

7

## 【まとめ】PAM法・AAM法の利点

- ✓ 既存手法では検知不可能な低密度のシカでも**検知可能**
- ✓ 大幅コスト削減⇒センサーカメラの**200倍**の検知範囲
- ✓ ユーザーの専門的知識不要⇒検出の**自動化可能**



- ✓ 当該研究成果は、来週からオーストラリアで開催される12th International Mammalogical Congress (7/9~7/16) にてにおいても紹介予定  
※期間中、**メディア対応はできません**のでご容赦ください

8

平成29年7月6日  
山形大学

## 第10回山形大学高校生朗読コンクール・ 群読劇「泣いた赤おに・りゅうの目のなみだ」開催について

山形大学高校生朗読コンクールは東北6県の高校生を対象に平成20年度から実施しており、今年で第10回を迎えます。昨年に引き続き、課題として高畠町出身の浜田廣介の作品を取り上げます。現在本選出場者を審査中です。

同時開催の群読劇は、復興に向け東北の力を舞台芸術で結集する取り組みとして平成24年度から始まりました。本学学生が山形の市民の皆さまとともに朗読劇「泣いた赤おに」（浜田廣介作）を制作・上演します。こちらも浜田廣介原作の「泣いた赤おに」「りゅうの目のなみだ」を取り上げます。

### ◆第10回山形大学高校生朗読コンクール・群読劇開催概要

主催：国立大学法人 山形大学

後援：公益財団法人 浜田広介記念館・山形県教育委員会

日時：平成29年9月10日（日） 13時30分開演～17時終了予定

会場：遊学館（山形県生涯学習センター）ホール（山形市緑町一丁目2-36）

入場料：一般 1,000円／大学生・高校生以下無料

概要：

#### 第1部 第10回山形大学高校生朗読コンクール

参加資格：東北6県の高校等に在籍する高校生 10名前後を予定

朗読課題文：浜田廣介作品を出場者に割り当てます。

#### 第2部 群読劇「泣いた赤おに」・「りゅうの目のなみだ」

出演：磯部勉さん（俳優）・山形県在住一般市民・山形大学学生 40名程度

上演作品：浜田廣介原作「泣いた赤おに」・「りゅうの目のなみだ」

※基盤共通教育「舞台をつくる2017」（山本陽史担当）受講学生が企画・運営を担います。

### ◆背景

山形大学では平成20年度から高校生朗読コンクールを主催してきました。24年度からはコンクールと同時に群読劇を開催しています。

昨年度は、一般市民、山形の子どもたち、山形大学学生が出演し「恩讐の彼方に」を同時開催しました。朗読コンクールには12名の高校生が出場、群読劇では酒田市出身の演出家の佐藤正文さんの指導を受けた29人のメンバーがステージで熱演しました。

今年度の朗読コンクールには東北6県の高校等から84人の応募があり、現在予選審査を実施しています。

（お問合せ先）山形大学EM部社会連携課  
電話023-628-4016



# 泣いた赤おに

山形大学特別プロジェクト

第一部・高校生朗読コンクール

浜田廣介作品より

第二部・群読劇 泣いた赤おに

りゆうの目のなみだ

【日時】

平成29年9月10日(日)

開場 13:00 開演 13:30

(終演予定 17:00)

【会場】

山形県生涯学習センター

遊学館 2階ホール

主催 国立大学法人 山形大学

【入場料】

一般 1,000円

(当日受付にてお支払いください。)

学生・高校生以下無料全席自由

【入場申込先・申込方法】

下記にFAXまたは電子メールでお申し込みください。

FAX: 023-628-4144

メール [embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

【お問い合わせ】

電話 023-628-4016

後援 公益財団法人 浜田広介記念館  
山形県教育委員会



平成29年7月6日  
山形大学

## 山形大学を体験しよう！ オープンキャンパス2017

オープンキャンパス2017を開催します。

各学部（学科）の説明のほか、模擬講義や体験学習、各種相談コーナーなど様々なイベントを用意していますので、ぜひ、この機会に山形大学を体感ください。

### ●オープンキャンパス2017

山形大学を志望している受験生、高校1・2年生、高校教員、保護者等の皆さまを対象に各学部（学科）概要説明や模擬講義、体験授業を行います。また各種相談コーナーも開設しますので、山形大学でのキャンパス全般にわたる様々な疑問にもお答えします。

- 7月29日（土） 飯田キャンパス（医学部）
- 7月30日（日） 鶴岡キャンパス（農学部）
- 8月4日（金） 米沢キャンパス（工学部）
- 8月11日（金・祝） 小白川キャンパス（人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部）

◎8月4日（金）米沢キャンパス、8月11日（金・祝）小白川キャンパスでは、保護者対象説明会を実施します。

◎平成30年度工学部AO入試Ⅱ（大学入試センター試験を課さないAO入試）へ出願を希望する場合は、8月4日（金）米沢キャンパスで開催するAO入試Ⅱ説明会へ出席することが出願の条件となります。

◎各キャンパスとも最寄り駅から無料シャトルバスを往復運行します。

◎事前申込み、各キャンパスの実施内容、シャトルバスの運行等詳細につきましては、山形大学のホームページをご覧ください。



（お問合せ先）  
エンロールメント・  
マネジメント部 EM企画課

■電話 023-628-40062/4063



# YAMAGATA UNIV. OPEN CAMPUS '17



8/11金祝

●小白川キャンパス(山形市内)  
人文社会科学部 9:30~16:00  
(受付は8:30から)  
地域教育文化学部 9:00~16:30  
(受付は8:30から)  
理学部 9:30~15:45  
(受付は8:30から)  
小白川キャンパスは8:30から総合受付を開始します。  
工学部、農学部の相談ブースも設置します。 9:30~16:00

7/29土

●飯田キャンパス(山形市内)  
医学部  
医学科 10:00~12:30(受付は9:30から)  
医学科は体験授業も開講します。 13:30~15:30  
看護学科 14:00~16:30(受付は13:00から)  
キャンパス・病院関係者向けを開設します。(事前予約制 先着60人)  
※看護学科の施設見学・演習体験は13:00から参加可能です。

8/4金

●米沢キャンパス(米沢市内)  
工学部  
9:30~16:00(受付は9:00から)

○各キャンパス「豊橋の駅」から無料シャトルバスを往復運行いたしますのでご利用ください。  
(小白川キャンパス→山形駅、飯田キャンパス→山形駅、米沢キャンパス→米沢駅、鶴岡キャンパス→鶴岡エスモール→鶴岡駅)  
(小白川キャンパス(8/11開催)に自家用車でこられる場合は、境内に駐車スペースがありませんので「山形県庁駐車場」をご利用ください。  
山形県庁から小白川キャンパスまではシャトルバスを運行いたします。(小白川キャンパスでの一時的な乗降は可能です。)

7/30日

●鶴岡キャンパス(鶴岡市内)  
農学部  
9:30~14:30(受付は9:00から)

詳しくは山形大学ホームページをご覧ください。 <http://www.yamagata-u.ac.jp/>

事前申込が必要です。山形大学ホームページから申し込みください。(原則として予約制ですが、当日の参加も歓迎します。)

山形大学 エンrollment・マネジメント部EM企画課 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 Tel.023-628-4062

リサイクル適性  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。





平成 29 年 7 月 6 日  
山 形 大 学

## 学生の活動紹介 ～ 女子バスケットボール部 ～

山形大学女子バスケットボール部は、全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ）へ 12 年連続（通算 32 回）の出場を誇り、東北大学リーグの強豪チームの一つに数えられます。

6 月に行われた東北地区大学体育大会では、昨年果たせなかった優勝を果たしました。また、7 月に開催される日本女子学生選抜バスケットボール大会には、4 名の選手が東北代表として出場することが決定しています。現在は、インカレ出場をかけた秋の東北大学リーグ戦に向けて、さらなる強化に取り組んでいます。

### 【第 68 回東北地区大学体育大会バスケットボール大会】

この大会は、6 月 16 日（金）～6 月 18 日（日）に宮城県・東北大学川内体育館ほか 2 会場で開催されました。全 4 試合のうち 3 試合を、東北大学バスケットボール連盟の 1 部リーグに所属するチームと対戦するという、厳しい組み合わせを勝ち上がり、2 年ぶりの優勝を果たしました（決勝戦：対仙台大学、87 対 67 で勝利）。

### 【第 34 回日本女子学生選抜バスケットボール大会】

この大会は、7 月 14 日（金）～7 月 16 日（日）に北海道・北海道立総合体育センターで開催されます。これは、全国 8 ブロックにおけるトップレベルの選別された選手たちによる大会で、本学からは選手として、島本悠加さん（地域教育文化学部スポーツ文化コース・4 年）、吉田園佳さん（地域教育文化学部スポーツ文化コース・4 年）、島貴姫夏さん（地域教育文化学部スポーツ文化コース・3 年）、佐藤美羽さん（地域教育文化学部文化創生コース・1 年）、マネージャーとして依田咲子さん（地域教育文化学部スポーツ文化コース・3 年）が参加します。

### 【女子バスケットボール部の概要】

現在の部員数は 14 名（1 年 7 名、2 年 1 名、3 年 4 名、4 年 2 名）と、他の強豪チームと比べると部員数は決して多くなく、長身者が不在の少数精鋭の小さなチームです。OG の先輩の中には、WJBL（バスケットボール女子日本リーグ）をはじめ、山形銀行女子バスケットボール部でプレイする選手などもおり、卒業後もバスケットボールの分野で活躍しています。

チームは、2005 年から 2016 年まで、12 年連続で全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ）に出場しており、本年 11 月に東北地方で開催される“地元”インカレへの出場権獲得に向けて、“素早い攻守の切り替え”と“ハードなディフェンス”で“走り勝つ”ゲームを展開するという持ち味を磨くため、日々ハードな練習に勤しんでいます。



（お問合せ先）

女子バスケットボール部顧問

学術研究院 講師

池田英治（地域教育文化学部担当）

Tel. 023-628-4817

平成 29 年 7 月 6 日  
山 形 大 学

\* 詳細は別添の資料をご覧ください。

## 1. 公開講座「21世紀の教育の創造—ほめる・叱るに替わる教育と子育て—」を開催

本講座では、民主的な親子関係のあり方（理念）とそこでのコミュニケーション技法（方法）をセットで学べる親学習プログラムSTEPを中心とした内容を紹介し、21世紀を担う子どもたちに、民主的な関係性を経験させることのできる親や教師としてののかかわりを学びます。

日 時：8月30日（水）

9月 6日（水）・13日（水）・20日（水）・27日（水）

18：00～20：00

対 象：一般市民（定員40名）

受講料：2,500円

申 込：7月31日（月）までに電話でお申し込みください。

## 2. 農学部夏期セミナー2017～高校生対象のアカデミックキャンプ～について

高校生が山形大学の学びをひと足はやく体験できるプログラム「アカデミックキャンプ」を、今年度も5学部で開催します。

農学部では、「食料系コース」「生命系コース」「環境系コース」のそれぞれの分野で、先端の研究を体験できるプログラムを用意しました。

日 時：平成29年7月31日（月）13：00～16：00

申込締切：平成29年7月24日（月）

## 3. 学金連携プラットフォーム10周年記念セミナーのご案内

地方創生の重要な担い手として地域金融機関が注目されています。

山形大学学金連携プラットフォーム発足10周年を記念して、森金融庁長官が、改革の担い手として地銀から異例の一本釣りをして抜擢したとされる金融庁地域金融企画室長 日下智晴氏を迎えて、セミナーを開催します。

日 時：7月18日（火）9：30～（開場9：00）

場 所：山形テルサ 3Fアプローズ





# 21世紀の教育の創造

## -ほめる・叱るに替わる教育と子育て-

### 講座の概要

本講座では、民主的な親子関係のあり方（理念）とそこで用いられるべきコミュニケーション技法（方法）をワンセットで学べる親学習プログラムSTEPを中心とした内容を紹介し、21世紀を担う子どもたちに、現在の子ども時代に民主的な関係性を経験させることのできる親や教師としてのかかわりを学ぶ機会とする。

なお、本講座は、2010・2012・2014・2015・2016年の本講座に次ぐ第6弾である。

### 全5回 公開講座スケジュール

8月30日（水）、9月6日（水）・13日（水）・20日（水）・27日（水）

18時00分～20時00分

### 講座内容

- ① 8月30日（水） 『全般的理解の枠組みと不適切な行動の理解』
- ② 9月 6日（水） 『子どもが問題を抱えたときの、子ども自身による問題解決へ向けた支援』
- ③ 9月13日（水） 『親・教師の問題に対するアプローチ（“注意・叱責”に替わるアプローチ）』
- ④ 9月20日（水） 『適切な行動へのアプローチ：勇気づけ（“ほめる”に替わるアプローチ）』
- ⑤ 9月27日（水） 『家族・学級集団における所属感を育てるアプローチ：集団による問題解決支援』

### 講師

山形大学地域教育文化学部

教授 松崎 学

### 受講対象

一般市民＜定員40名＞

### 受講料

2,500円

### 場所

山形大学地域教育文化学部  
1号館114講義室（1F）

### 申込先・問合せ先

山形大学地域教育文化学部事務室

7月31日（月）までに  
電話で申込ください。

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL 023-628-4304

# 山形大学農学部 夏期セミナー2017

7/31(月)

9:00~12:30

8:30~開講式

## ◆夏期セミナーとは！？

「食料系コース」・「生命系コース」・「環境系コース」に分かれ、実験やフィールドワークを通して、各分野に関する先端の研究を直接体験できる、高校生対象のセミナーです。【各コース定員20名】

## ◆タイムスケジュール

◆8:30~8:50 開講式

◆9:00~12:00 3コースに分かれて講義や実験を行います

### 食料系コース

【講義】

経済学的視点から  
農業の維持・発展に  
ついて考えてみよう

食農環境マネジメント学コース准教授  
家串 哲生

担当教員の研究分野：  
「食農環境会計学」

持ち物

筆記用具

服装

特に指定なし

### 生命系コース

【実験】

身の回りの食品に  
含まれるビタミンCを  
測定してみよう

食品・応用生命化学コース准教授  
井上 奈穂

担当教員の研究分野：  
「食品栄養化学」

持ち物

筆記用具

服装

多少汚れても構わない服装

### 環境系コース

【講義】

水が結ぶ生活環境と  
農・畜・水産業

水土環境科学コース教授  
渡部 徹

担当教員の研究分野：  
「農村環境学」

持ち物

筆記用具

服装

特に指定はないが  
講義を受ける服装

◆12:00~12:30 閉講式

## ◆お申し込み方法は2通り！ ※事前予約が必要です！

### ①FAXでのお申込み

【夏期セミナー受講申込用紙】  
に必要な事項を記入いただき、  
山形大学農学部学務担当FAX  
(0235-28-2814)までお送りく  
ださい。

### ②Eメールでのお申込み

以下の必要事項を記載いただき、山形大学農学部学務担当Eメール  
アドレス(nogaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)までお送りください。  
なお、Eメールのタイトルは「夏期セミナー申込み」としてください。

#### \* 必要事項 \*

- ①受講者氏名 ②カナ氏名 ③性別 ④住所 ⑤高校名・学年  
⑥電話番号 ⑦希望コース名(第2、第3希望がある場合は記載  
してください)

申込〆切  
7/24(月)

## 【夏期セミナー受講申込用紙】

食料系コース、生命系コース、環境系コースから 1 つ選んでください。  
第 2 希望及び第 3 希望のコースがある場合は、順番に記入してください。  
定員は各コース 20 人で、受付は先着順とします。

希望コース名：\_\_\_\_\_

フリガナ：\_\_\_\_\_

受講者氏名：\_\_\_\_\_ 性別：\_\_\_\_\_

住所：\_\_\_\_\_

高校名：\_\_\_\_\_ 学年：\_\_\_\_\_

電話：\_\_\_\_\_

E-mail：\_\_\_\_\_

その他（セミナーの内容について、質問・要望等ございましたら何でもご記入ください）

[ ]

申込締切：7 月 24 日（月）（必着）

申込用紙提出先：

〒997-8555 鶴岡市若葉町 1-23

山形大学農学部学務担当夏期セミナー係

E メールアドレス [nogaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:nogaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

電話番号 0235-28-2808 ファックス番号 0235-28-2814



平成 29 年 7 月 6 日  
山 形 大 学

## 学金連携プラットフォーム 10 周年記念セミナー開催

地方創生の重要な担い手として地域金融機関が注目されています。  
山形大学学金連携プラットフォーム発足 10 周年を記念して、森金融庁長官が、  
改革の担い手として地銀から異例の一本釣りをして抜擢したとされる金融庁地  
域金融企画室長 日下智晴氏を迎えて、セミナーを開催します。

### ■ セミナーの概要（詳細は別紙をご覧ください。）

日時：平成 29 年 7 月 18 日（火）9:30～11:30

場所：山形テルサ 3 F アプローズ（山形市双葉町 1-2-3）

### ■ 山形大学「学金連携プラットフォーム」（事務局：山形大学）

平成 19 年に山形大学と県内の 12 の金融機関<sup>※1</sup>が連携し、地域産業が抱える課題  
の克服と地域資源を活かしたイノベーションの創出を通じて、経済成長エンジンとし  
て地域に貢献することを目的に発足。これまで 10 年間にわたって、山形大学認定の  
「産学金連携コーディネーター」（平成 29 年度現在 268 名）が活動の推進役となり  
地域企業の課題解決支援を行ってきた。

### ■ 金融庁の金融改革と地域金融企画室

地域金融機関については地域の経済・産業を支えていくことが求められていること  
から、金融庁は、担保・保証に依存する融資姿勢を改め、本業支援等を通じて地方創  
生に貢献していくことを期待。こうした観点から、地域における金融仲介機能に関し  
て、必要な企画、立案、調整、情報収集及び情報分析を行うため、「地域金融企画室」  
を設置し、室長として地方銀行出身の日下智晴氏<sup>※2</sup>を任命。

（金融庁 平成 27 年 11 月 2 日 金融庁ホームページから一部抜粋、加工。）

※1 北郡信用組合、きらやか銀行、商工中金山形支店、荘内銀行、新庄信用金庫、鶴岡信用金庫、日本政策金  
融公庫米沢支店、山形銀行、山形信用金庫、山形第一信用組合、山形中央信用組合、米沢信用金庫（50 音順）

※2 日下智晴氏は広島銀行勤務時代にマツダ自動車と協力し、マツダの協力中小企業のベンチマークを  
通じて、マツダ自動車の V 字回復と地域産業活性化に大きく貢献したことで有名。

#### （お問合せ先）

山形大学地域価値創成学研究所 学金連携部門  
学金連携プラットフォーム 連携研究員 鈴木昭一  
電話.0238-26-3621  
Mail. s-suzuki@yz.yamagata-u.ac.jp

# 山形大学学金連携プラットフォーム 10周年記念セミナー

## 演題

# 『金融仲介と事業性評価』

講師：金融庁 地域金融企画室長

地域金融機関等モニタリング長

(元 広島銀行) **日下 智晴 氏**



### 《プロフィール》

1961年生まれ、1984年神戸大学経営学部卒、同年広島銀行入行、  
1996年の日本版ビックバン宣言を受けて、1997年総合企画部課長代理、  
2007年担当部長、2010年融資企画部長、2014年リスク統括部長、  
2015年10月広島銀行退職、11月金融庁入庁し初代地域金融企画室長、  
2016年6月より地域金融機関等モニタリング長を兼務

日時： 平成29年 7月18日(火)

開場 9:00 開始 9:30

9:30～ 9:40 開会あいさつ

9:40～11:10 記念セミナー 日下智晴 氏

11:10～11:30 プラットフォーム10年の歩みと今後

場所： 山形テルサ 3F アプローチ

(山形市双葉町1-2-3)

主催： 山形大学 学金連携プラットフォーム

山形大学 地域価値創成学研究所 学金連携部門